

灯



大激戦だった大阪都構想の選挙が終わり結果はこ存じの通り。直接関係する大阪市民は結果として現実的な選択をしたのだらう。しかし投票率を見ても関心の高さがうかがえる。大阪がこれほど注目を集めたことは近年なかったのではとの印象だ。

また橋下徹氏が府知事のころ、このコラムで私は



草野 義輔

「東日本大震災で福島の原発がコントロールを失いかけた際、最悪大規模爆発があれば首都圏中心に3千万人に避難命令を出さねばならなかった、と後に報道された。万一東京が壊滅状態になったとき首都に代わる存在が必要で大阪都構想は一考に値する」と書いた。

個人のには首都移転が一番の

策だと考えているが、せめて首都を代行できる場所があれば日本自体の構造がより安定し強固なものになると思う。一方で日本第2の都市であった大阪は東京一極集中の裏返しで地盤沈下が著しい。大阪に本社があった企業も多くは東京に機能を移転している。

こんな観点からみると今回の住民投票は東京一極集中に多少の歯止めをかけ凋落の大阪に少しの光が当たり、日本の政治経済の柔構造を進める貴重な機会ではなかったか、と思えてならない。

反対の多くは変化を望まない60歳以上の高齢者と聞く。私見だが、せっかく若者が投票に行った貴重な機会を年寄りがつぶした形だ。今となっては後の祭り……かも。

(昭和学校園高校理事長・日田市)